

序

救急医療の現場において、画像診断（CT・MRI）は、迅速な診断と治療方針の決定に不可欠な役割を果たしています。一刻を争う状況下で、適切なモダリティと撮影プロトコルを選択し、得られた画像から瞬時に病態を把握することは、患者の救命率や予後を大きく左右します。しかし、多岐にわたる救急疾患に対し、限られた時間の中で最適な画像診断を行うことは容易ではありません。

『救急画像診断 一問一答』は、放射線科医，救急医，研修医，そして医学生を対象として，救急領域における画像診断の基本から応用までを網羅した問答形式となっています。頭部，胸腹部といった主要な臓器別診断はもちろん，外傷，中毒，感染症，さらには小児や妊婦といった特殊な状況下での対応まで，救急現場で遭遇しうる広範なテーマについて，実践的な知識を提供し，臨床での実践に役立つことを目指しています。

本書の特長は，各章ごとに「撮影プロトコル」と「診断のポイント」がセットで解説されている点です。専門家によって厳選された，「この病態ではどのようなオーダーを出すべきか」「この画像から何を読み取

るべきか」という問いに対し、豊富な症例画像を用いて明確に解説しています。これにより、読者は検査の適応判断から診断に至るまでの一連の流れを、直感的に深く理解することができるでしょう。

医療技術の進歩とともに、救急画像診断の常識も日々更新されています。本書は、最新のガイドラインや知見に基づいて構成されており、読者が常に最新の知識をアップデートできるよう配慮されています。本書が、緊迫した臨床現場において、読者の皆様が自信をもって最適な画像診断を実践するための確かな手引きとなることを期待しています。

最後に、本書の執筆にご尽力いただいた各分野の専門家の先生方、ならびに企画・編集に多大なるご協力をいただいた株式会社 Gakken メディカル事業部 編集課の皆様に、心より感謝申し上げます。

2026年3月

帝京大学医学部放射線科学講座
近藤 浩史 (章編者・執筆者を代表して)